DATASHEET — データシート —

Actiphy ImageCenter™

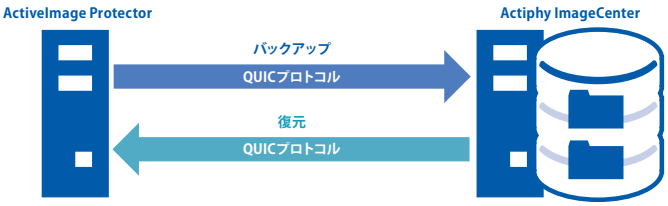
「ActiveImage Protector™」用の統合型バックアップストレージ

Actiphy ImageCenter™は、ActiveImage Protector™専用のバックアップストレージ Actiphy StorageServer™ に、イメージ管理ツール ImageCenter™を搭載した統合型バックアップストレージです。バックアップ保存先と管理ツールの統合により、バックアップファイルの結合、レプリケーション、検証、起動確認（BootCheck™）を一元的に実行し、効率的で統一感のあるバックアップ運用を実現します。

最適化されたバックアップストレージ

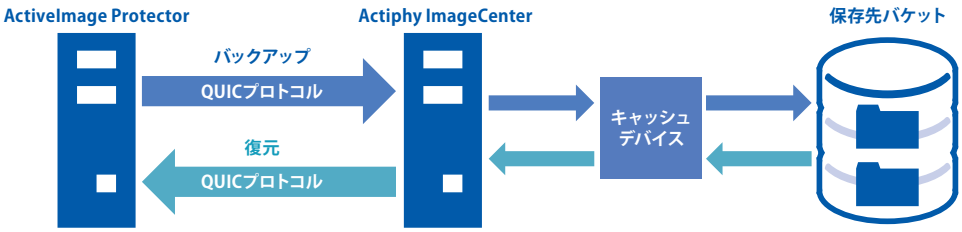
Actiphy ImageCenter™は、サーバー上にバケットを作成し、ActiveImage Protector™専用のバックアップ保存先として利用できます。保存先のバケットをWindows共有機能を介さずに配置することで、ランサムウェアなどによるウイルス感染リスクを低減可能です。さらに、バックアップ通信にはQUICプロトコルを採用しており、複数のQUIC接続を同時に利用することで、高速かつ効率的なデータ転送を実現します。

※バックアップ保存先として、共有フォルダーを指定して利用することもできます。



安定したバックアップ処理速度を実現

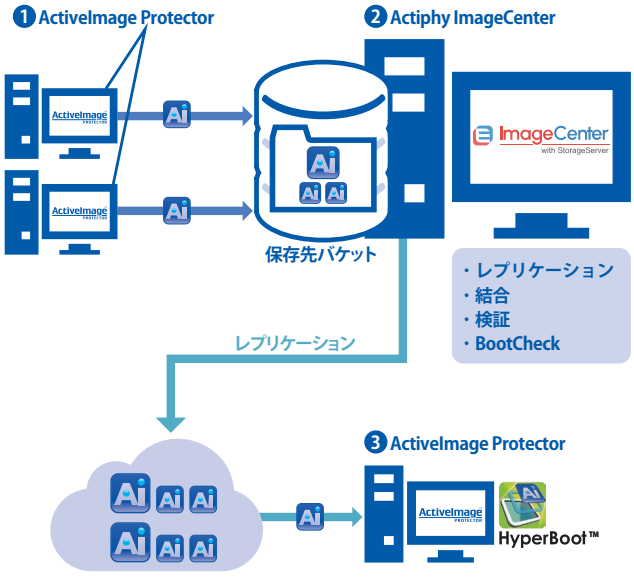
比較的低速なHDDストレージデバイスを使用する場合、書き込み待ちが発生し、バックアップ処理時間が長くなることがあります。Actiphy ImageCenter™では、構築したストレージサーバーに、保存先ストレージデバイスより高速なUSB SSDなどをキャッシュデバイスとして追加できます。これにより、安定した処理速度でバックアップを実行可能です。



多彩なイメージ管理機能を搭載 ―イメージ管理の運用例―

- **バックアップの取得**
  複数のマシンにインストールした ActiveImage Protector™ でバックアップを取得し、保存先バケットに保管します。
- **バックアップの管理と検証**
  バックアップ元とは別サーバーに導入した Actiphy ImageCenter™ を活用し、バックアップファイルの結合、ネットワークストレージやクラウドストレージへのレプリケーションを実行できます。これらの処理はバックアップ元に負荷をかけず、スケジュール設定により自動化可能です。さらに、搭載された BootCheck™ 機能により、実際に復元おこなわずにバックアップファイルが正常に起動できるかを確認できます。
- **災害対策と迅速な復旧**
  クラウドストレージに保存したバックアップを遠隔地のリモートサイトに転送し、復元作業に利用できるほか、HyperBoot™（※）を利用して直接仮想マシンとして起動することも可能です。これにより、災害対策の強化と迅速なシステム復旧を実現します。

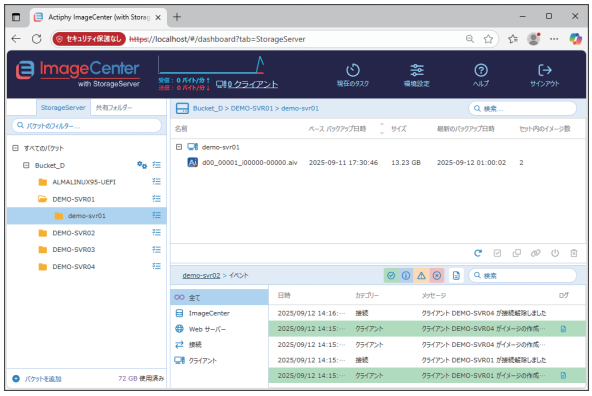
※ HyperBoot™：アクティファイ独自開発のツールで、バックアップイメージファイルをそのまま仮想マシンとして起動できます。



バックアップストレージ機能

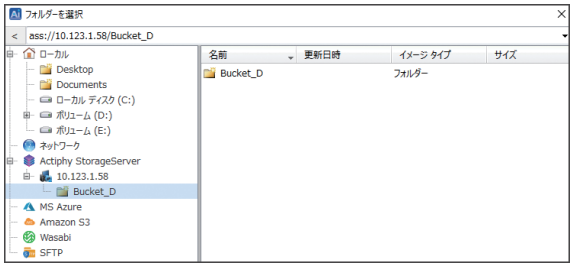
容易な導入と管理

Actiphy ImageCenter™は、専用サーバーを新たに準備する必要がありません。既存のWindowsマシンにインストールするだけで、ActiveImage Protector™専用のセキュアなバックアップストレージを構築できます。さらに、Webコンソールからは、保存先バケットの作成や、クライアントごとのストレージ容量上限（クォータ）など、バックアップ運用に必要な管理作業を一元的におこなうことができます。



ActiveImage Protector™のバックアップ先として統合

ActiveImage Protector™側では、バックアップ先として統合されていますので、指定するだけでクライアント側のバックアップ保存先として利用できます。



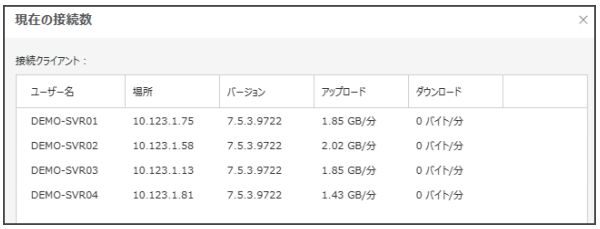
キャッシュデバイスの追加

Actiphy ImageCenter™は、一次キャッシュに使用するサーバーの物理メモリーの使用率、二次キャッシュとして追加するキャッシュデバイスを指定することができます。キャッシュデバイスは、バケットを設置したストレージより高速なデバイスを使用することで、安定したバックアップ処理をおこなうことができます。



通信状況と接続クライアントの確認

現在、接続中のクライアントの受信、送信データ量の情報を一覧で確認することができます。



各種イベントログの確認

コンソールのイベントペインからは、クライアントの接続、バケットの追加/削除、バックアップタスクなどの状況の履歴を確認することができます。



アラート機能

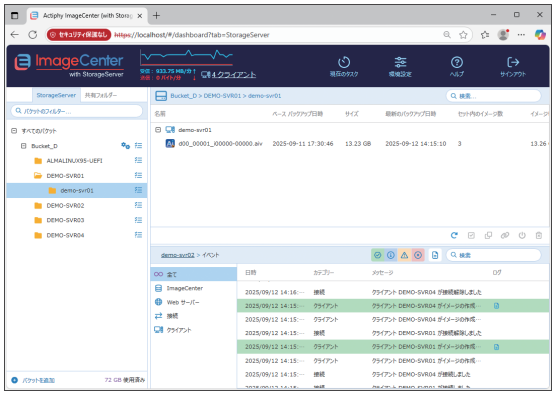
新規クライアントの接続、タスク成功/失敗、バケットの空き容量不足に関する情報をメール送信で通知するように設定できます。SSL/TLSが必要なメールサーバーに対応しています。



イメージ管理機能

バックアップファイルを一元管理

Actiphy ImageCenter™のコンソールから、複数のWindows、Linuxマシンのバックアップファイルの結合やレプリケーション、検証、起動テストを一元的に管理することができます。さらに、バックアップ保存先のフォルダー単位の管理により、複数クライアントのバックアップファイルの処理を一括設定できます。



幅広いレプリケーション先から選択して利用可能

レプリケーション先（ローカルストレージ、共有フォルダー、クラウドストレージなど）を選択して、レプリケーションをおこなうことができます。レプリケーションは、最新の世代、増分バックアップのみ、または保存先と同期などの設定をおこなうことが可能です。



バックアップの起動確認

バックアップから実際に復元することなく、ローカルやリモートのHyper-Vホストを指定して、バックアップが確実に起動できる状態であることを確認することができます。



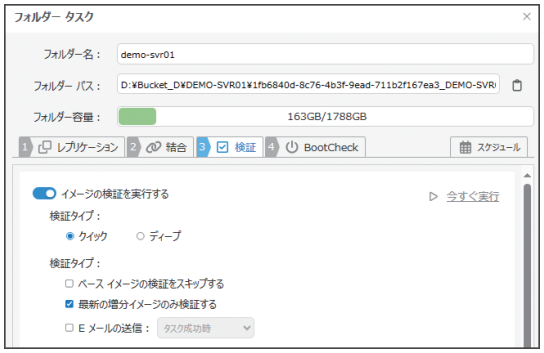
増分バックアップの結合処理

結合処理において、最新の増分バックアップを残す数などの設定をおこなうことができます。



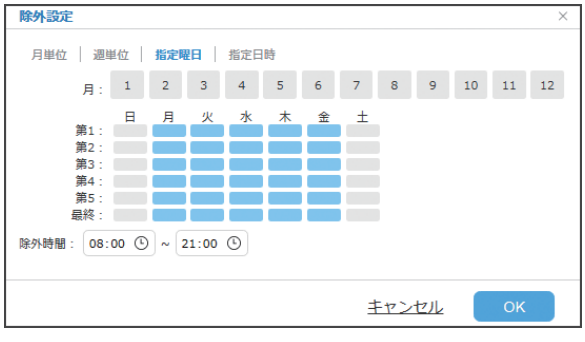
バックアップの検証

バックアップが作成時から改ざんされていないかを確認できます。最新のバックアップのみ、または増分バックアップのみ検証をおこなう設定が可能です。



タスクのスケジュール実行

各タスクはスケジュールで自動実行することができます。スケジュールは、即時、時間指定（週/月単位）、増分ファイル数など柔軟な設定が可能です。また、レプリケーションなどネットワーク負荷の大きい処理は、特定の時間帯を避けて実行するようスケジュール設定することが可能です。



株式会社 アクティファイ　〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町8番 NCO神田紺屋町
TEL：03-5256-0877　FAX：03-5256-0878　https://www.actiphy.com　sales@actiphy.com

© 2025 Actiphy, Inc. All rights reserved. ActiveImage Protector、vStandby、Actiphy ImageCenter、HyperBoot、ReZoom it!、BootCheck、ActiveVisor、ImageIsolate、HyperAgentは、株式会社 アクティファイの商標です。
Microsoft、Windows、Windowsロゴは、米国および諸外国におけるMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。その他のブランド名および製品名は、それぞれ帰属する所有者の商標または登録商標です。